

Science Letter

サイエンスCの発表を受験に活用しました！

今年度はサイエンスC（3年生）が3年ぶりに開講し、2名の生徒が受講しました。9月には期末探究発表を行い、約2年間にわたるサイエンスの授業をやり遂げました。そして、そのうちの1名が今年度の総合型の大学入試選抜の1つである『探究活用型入試』をサイエンスCの探究発表を活用して受験し、見事合格しました！

サイエンスの取り組みを受験に活用した試みは過去10年間では初めてであり、生徒の努力が実を結ぶ形となりました。以下、受験をした生徒の受験感想（一部）になります。

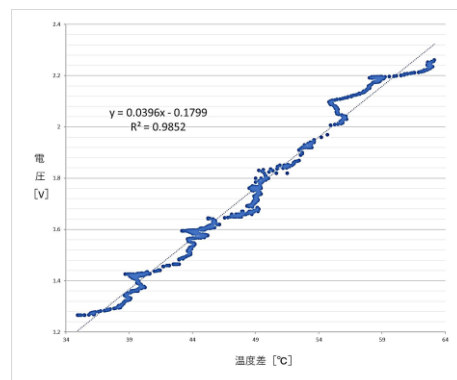


図. 生徒が実際に行った実験結果

①志望校を決めた理由

自分の学びたい学科があったからです。設備も充実していることなども魅力に感じていました。

②受験勉強を意識し、始めた時期

特殊な入試方式ですので研究の調査は高2の9月頃から、筆記試験の方の勉強は3年生に入ってから始めました。

③学校の授業への取り組み方

理数探究を利用した受験は視野に入れていたので数学や理科の授業は特に積極的に受けていました。また、サイエンスCでは授業中では実験だけができるよう、事前の下調べを毎回行っていました。その為にも、どの教科においても授業中は覚えられるものは授業中に覚えるようにしていました。

④教科別の勉強法

私は研究が主でしたので、とにかく自分の研究に関する論文などを沢山読みました。ネットで調べても分からないことは専門で勉強していた方から話を聞いたり、実験で分からないことは大学に実際に足を運び、教授からアドバイスを頂いたりしました。筆記試験対策は一般入試対策と同じように勉強しました。

⑤スランプに陥った時期とその克服法

高3の6月。実験が思う様にかたがた悩んでいた時、仲間や先生方からアドバイスをもらいどうにか超えることが出来ました。

⑥学校の進路指導で役に立ったこと

面接練習や志望理由書の添削。試験当日に面接を急遽やることになりましたが何度も練習をしていたため、落ち着いて受けることができました。

⑦在校生へのアドバイス

自分の志望校や入試方式はできるだけ早くから考えておいた方が良いでしょう。また総合型を含め推薦入試を考えているのであれば、セミナーの参加などは積極的に行っておくと面接や志望理由書などで書くことが増えます。受験は最後まで何が分かるかわかりません。諦めず悔いが残らないよう頑張ってください。